※令和３年度以前入学生用

学校番号	2004

令和４年度 芸術科

教科	芸術	科目	書道Ⅱ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	書Ⅱ（教育図書）						
副教材等	自主教材プリント						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

書道の幅広い活動を通して、書に関心を持ち愛好する心情を育てるとともに、感性を豊かにし、書写能力を高め、探究心を育成し表現と鑑賞の能力を伸ばす。さまざまな書体の古典を学習することで、文字の発展の過程や時代背景など理解を促す。
また、相互批評などのグループ学習をすることでコミュニケーション能力の向上をめざし、書道芸術作品と自他を尊重する心を育む。この点については各単元において実施していきたい。授業の進め方については、授業毎の目標を明確化し、表現（書作の意図・書写技能）と鑑賞を並行して扱い評価については、各単元・授業毎の作品・ワークシート提出等でおこなう。

２　学習の到達目標

書道の創造的な諸活動を通して、生涯にわたり書を愛好する心情を育成するとともに、感性を高め、個性豊かな表現と鑑賞の能力を伸ばし、書の伝統と文化についての理解を深める。

３　学習評価（評価規準と評価方法）

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	書への関心・意欲・態度…書の創造的活動の喜びを味わい、書の伝統と文化に関心を持って、主体的に表現や鑑賞の創造的活動に取り組もうとする姿勢を育む。	書表現の諸要素を感受し、感性を働かせながら、書の創造的活動の喜びを味わい、自らの意図に基づいて構想し、表現を工夫している。	創造的かつ効果的な書表現をするために、使用する筆記具の特性を理解し、表現方法を選択し活用できるよう、様々な表現技能を習得する。	文字や書の伝統と文化について幅広く理解し、その価値を考え、書のよさや美しさ、書の表現意図を、創造的に鑑賞する。
評価方法	作品 ワークシート	作品 ワークシート	作品	ワークシート

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和３年度以前入学生用

４　学習の活動

学期	単　元 （学習項目）	学習内容	主な評価の観点				単元の評価規準 （生徒の到達目標）	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	「草書」「行書」 ・十七帖 ・書譜 ・祭姪文稿 など	◆書体の変遷における行書・草書体の特徴の理解し、発生の歴史的背景を理解する。 ◆さまざまな古典臨書を通じ、変化に富む用筆法を観察し行草体の躍動感やリズム感を表現していくことで、技術の向上と鑑賞能力の向上を図る。	○			○	a：積極的に取り組み、行書で自分の名前を書くに当たっての技能習得に、興味・関心を持っている。 d：各古典の特徴を理解し、感性を持って創造的に鑑賞しそのよさを味わっている。	ワークシート 作品 観察
	「行書」細字	◆細字での学習を行い、自分の名前を行書で書ける事を目標に取り組む。		○	○		b：行書の特徴を理解し、基本点画の習得を生かして表現を工夫している。 c：古典の技法を細字として表現する技法を身に付けている。	ワークシート 作品 観察
	「仮名」	◆用筆・運筆を理解し古典に基ずく表現を工夫する。 ◆漢字の「行書」「草書」との歴史的関連性理解する。			○	○	c：仮名の特徴を理解し、基本点画や連綿の運筆など筆使いを身に付け、表している。 d：書作時の表現の工夫に活かせるよう、古典の技法・構成法を鑑賞する。	ワークシート 作品 観察
2学期	「漢字仮名交じりの書」 作品制作	◆題材の詩句の内容・用具用材の特徴を理解し、古典学習で習得した技能、鑑賞で得た感動をもとに、創造的工夫を持って書作する。		○		○	b：語句の意味を考え、制作時の表現意図を作品に反映するように工夫する。 d：作品の相互批評を行い、自他の作品の意図を考え、個々にしか書けない文字の尊さを感じている。	ワークシート 作品 観察
	「篆書」の 基本学習 古典臨書 ・泰山刻石	◆篆書の変遷（時代を遡る）を学習していくことで漢字の成立ちや構造を学習する。（象形・指示・会意・形声など） ◆篆書の用筆法を理解し、習得する。（逆筆・蔵鋒）	○		○		a：歴史的背景を理解し漢字への関心を深め、積極的に取り組み、技術の習得に努めている。 c：用筆法を理解し、基本点画の習得に努め、構築性を考え身に付け表している。	ワークシート 作品 観察
	さまざまな「篆書」 石鼓文 金文	◆明・清時代の古典臨書などを参考に、用筆法・表現の工夫などを鑑賞する。 ◆各時代の文化と関連付け		○		○	b：鑑賞と関連させ、工夫する点を各自で発見し、表現を構想している。 d：各古典の特徴を理解し、当時の	ワークシート 作品 観察

※令和３年度以前入学生用

	甲骨文など	て、篆書の変遷を考える。					美意識と感性を持って創造的に味わっている。	
	「篆刻」 作品制作 ・選文　・印稿 ・布字　・運刀 ・押印　　など	◆印の歴史を学習し、実際に漢時代の官職印を参考にした自用印を制作する。	○	○	○		a：物品・器物への取扱に注意し、安全に作業をし、意欲的に取り組もうとしている。 b：漢時代の印の特徴を理解し、構築性のある印面制作について工夫している。 c：用具の使用方法を十分に理解し、作品が制作されている。	ワークシート 作品 観察
３学期	「隷書」 ・木簡 ・曹全碑 ・乙英碑 ・石門頌 など	◆書体変遷の中の、隷書の成り立ちを考察し、隷書における美意識・書体の特徴を理解する。 ◆漢碑：木簡などの書体との技術的共通点と、楷書と比較・観察していくことで、文字変遷の過程の中での隷書について創造的に書作する。		○	○		b：さまざまな隷書の特徴を理解し、各古典に合った技法を観察し表現を工夫している。 c：波磔など各古典の特徴をふまえた表現の技能を身に付け表している	ワークシート 作品 観察

※　表中の観点について　a：関心・意欲・態度　　b：思考・判断・表現
　　c：技能　　d：知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。